

平成28年度第5回秋田大学経営協議会議事要旨

日時 平成29年3月17日（金）13:30～15:47
会場 本部管理棟3階 第1会議室
出席者 山本学長（議長）、近藤、小川、金城、関根、羽瀧、神谷、小山田、銭谷、藤原、吉本、高島、工藤各委員
監事 真鍋、吉岡各監事
陪席 四反田理事、佐藤国際資源学研究所長、武田教育文化学部長、村岡理工学研究科長、麻生附属図書館長
欠席者 小笠原、米田各委員

議 事

1. 平成28年度第4回秋田大学経営協議会議事要旨の確認
平成28年度第4回秋田大学経営協議会議事要旨が確認された。
2. 平成28年12月15日秋田大学経営協議会（書面審議）議事要旨の確認
平成28年12月15日秋田大学経営協議会（書面審議）議事要旨が確認された。
3. 平成29年1月16日秋田大学経営協議会（書面審議）議事要旨の確認
平成29年1月16日秋田大学経営協議会（書面審議）議事要旨が確認された。
4. 審議事項
 - (1) 平成29年度学内予算等について
金城理事から資料により、国立大学法人運営費交付金等予算案や学内予算案の概要等について説明があり、了承された。
また、学外委員から、本学の科研費採択状況及び機能強化戦略推進経費について質疑があった。
 - (2) 平成29事業年度長期借入金の借入れ及び償還計画の認可申請について
金城理事から資料により説明があり、了承された。
 - (3) 平成29年度資金運用方針について
金城理事から資料により説明があり、了承された。
 - (4) 平成29年度国立大学法人秋田大学年度計画（案）について
神谷副学長から資料により説明があり、了承された。
 - (5) 諸規則の制定・改廃等について
近藤理事及び四反田理事から資料により説明があり、以下の規程の制定等について了承された。
なお、国立大学法人秋田大学職員給与規程の一部改正案の防疫等作業手当に係る条文については、学内規程を精査のうえ、手当の二重支給のおそれがないと判断された場合、学長裁定により一部文言を削除することが併せて了承された。
 - ・国立大学法人秋田大学運営規則（改正）
 - ・国立大学法人秋田大学経営協議会規程（改正）

- ・ 秋田大学学則（改正）
- ・ 国立大学法人秋田大学コンプライアンス規程（制定）
- ・ 国立大学法人秋田大学の職員の勤務時間等に関する規程等（改正）
- ・ 国立大学法人秋田大学における教育系職員の任期に関する規程（改正）
- ・ 国立大学法人秋田大学職員就業規則等（改正）
- ・ 国立大学法人秋田大学職員給与規程等（改正）
- ・ 国立大学法人秋田大学職員安全衛生管理規程（改正）

（６）秋田大学インフラ長寿命化計画（行動計画）について
金城理事から資料により説明があり，了承された。

（７）第３期中期目標期間の予防保全計画（第１版）について
金城理事から資料により説明があり，了承された。

（８）経営協議会学外委員及び同委員から選出する秋田大学学長選考会議構成員について
学長から資料により説明があり，了承された。

5. 報告事項

（１）平成２９年度運営費交付金の重点支援の評価結果について
金城理事から資料により，平成２９年度運営費交付金の重点支援の評価結果について報告があった。
学外委員から，今回の評価結果を来年度以降の概算要求に活かしてもらいたい旨発言があった。

（２）国立大学法人法第三十四条の二における土地等の貸付けにかかる文部科学大臣の認可基準について
金城理事から資料により報告があった。

（３）大学戦略室及び評価・ＩＲセンターについて
近藤理事から資料により，大学戦略室の組織構成を見直すとともに，評価センターを改組してＩＲ機能を付与した評価・ＩＲセンターとすることの報告があった。

（４）訴訟に関する報告について
学長及び近藤理事から資料により報告があった。

（５）次期秋田大学役職員について
学長から資料により報告があった。

6. その他

（１）出願者状況と今後の展望及び対策について
四反田理事から資料により，平成２９年度入試の出願状況及び分析結果並びに今後の志願者獲得に向けた方策案について説明があり，学外委員から以下のような意見が出された。
・ 国公立大学の平成２９年度入試の出願状況については，地域差が大きかったという印象。

- ・将来の進路が明確になっていない学生でも、入学後に幅広い選択ができるような募集方法を検討することも一つの方法。
- ・教職員が各学部の歴史や特色をしっかりと理解したうえで、大学としての明確な方針のもとで高校生にアピールしていくことが必要。
- ・高校生や保護者だけでなく、高校の進路指導担当教員への働きかけも重要。
- ・秋田という地域そのものに対するイメージも影響している可能性もある。高校生が秋田大学を卒業した後の自分をイメージできるような工夫が必要。
- ・前期試験・後期試験における募集人員の割合についても検討の余地があるのでは。

学長から、本件については、引き続き学内で改善策を検討していきたいとの発言があった。

- 学長から、3月31日をもって退任する陪席者及び事務陪席の紹介があり、各人から退任の挨拶があった。

陪席者 伊藤医学系研究科長（欠席につき挨拶なし）
麻生附属図書館長
事務陪席 大村副理事（総務担当）
大宮副理事（財務・施設・環境担当）

以上